

第3回船橋市行財政改革推進会議資料

諸収入について

～船橋市の諸収入確保の取り組みについて～

平成29年10月30日(月)

船橋市 企画財政部 政策企画課

(1) 諸収入とは

諸収入は、他の収入科目に分類されないお金で、市税等の延滞金や貸付金の元金収入のほか、雑入などがあります。

科目	主なもの	28年度決算額
延滞金・加算金 及び過料	市税延滞金	399,156千円
預金利子	—	96千円
貸付金元利収入	奨学金・看護師等修学資金 などの償還金、預託金元利 収入	3,196,648千円
受託事業収入	国保、介護の電算処理受託 事業、後期高齢者医療広域 連合受託事業	448,452千円
収益事業収入	競馬事業利益分配金	30,000千円
雑入	弁償金、学校給食費実費徴 収金、資源ごみ等売却収入、 電力売払収入、生活保護費 返還金	4,094,833千円
合計		8,169,185千円

(2) 船橋市の現在の取り組みについて

① 資源ごみの売り払い

ゴミとして出された空き缶やペットボトルのほか、リサイクルセンターで回収したリサイクル品等を売却して歳入の確保を図っています。

◆ 資源ごみ等売り払収入の推移

平成24年度決算額	: 191, 743千円
平成25年度決算額	: 249, 089千円
平成26年度決算額	: 282, 987千円
平成27年度決算額	: 219, 207千円
平成28年度決算額	: 187, 548千円



②電力の売り払い

北部清掃工場

平成29年度から運営を開始した北部清掃工場は、設計・施工と、その運営を一括して行うDBO（Design；設計、Build；建設、Operate；運営）方式により整備し、廃棄物の処理に伴い発生する熱エネルギーを、余熱利用施設（温浴施設）への熱供給のほか、発電にも利用し、施設内の電力を賄うとともに余剰分については電力会社に売却します。

◆平成29年度 歳入予算額 : 505, 055千円

南部清掃工場

南部清掃工場でも、ごみを焼却した熱を利用し発電を行い、工場内で使用する電力を賄うほか、電力会社に余剰電力を売電しています。

また、平成32年度からの運用開始を目標に現在建替事業を進めており、建替後は売電収入の増額を見込んでいます。

◆建替後の売電収益[見込] : 437, 333千円

（参考）平成28年度決算額：79, 136千円

③広告掲載事業

市の印刷物やホームページ、公共施設等の資産を有効活用するとともに、自主財源の確保を図るため、広告掲載事業を推進しています。

種別	媒体	概要	平成28年度決算額
動画	本庁舎内モニター 船橋駅前総合窓口センター モニター	市役所本庁舎内や船橋駅前総合窓口センターにモニターを設置し、動画による広告を放映する。	3,657千円 (内訳) 本庁舎 3,240千円 総合窓口 417千円
	船橋駅前歩道橋デジタルサイネージ	JR船橋駅前とFaceビルの間の歩道橋にデジタルサイネージモニターを設置し、動画による広告を放映する。	1,296千円
紙媒体	パンフレット・ガイドブック 封筒 など	市の封筒や刊行物(子育てナビゲーション、小児救急ガイドブック、ごみ出しカレンダーなど)に広告を掲載	1,957千円
その他	市ホームページ	市のホームページ(トップページなど)にバナー広告を掲載する。	7,935千円
	本庁舎案内板	本庁舎1階にタッチパネルを用いた広告入り案内板を設置する。	3,110千円
合計			17,955千円

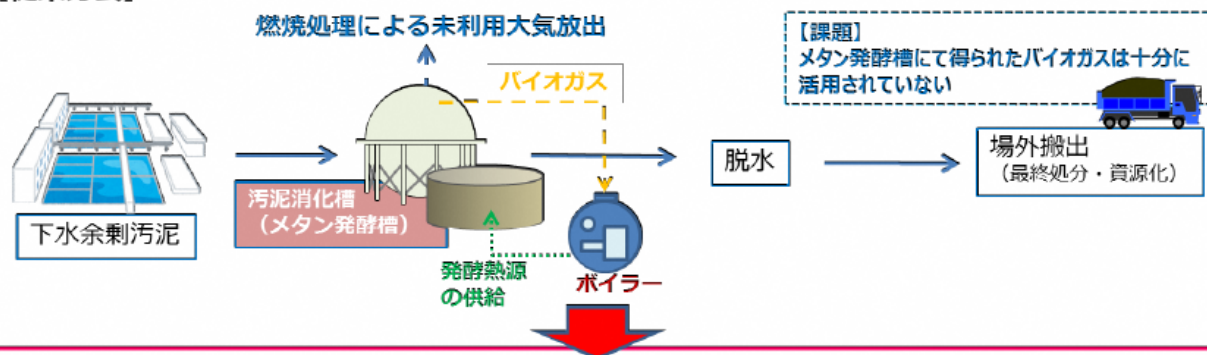
(3) 船橋市の今後の取り組みについて

バイオマスエネルギーの有効活用

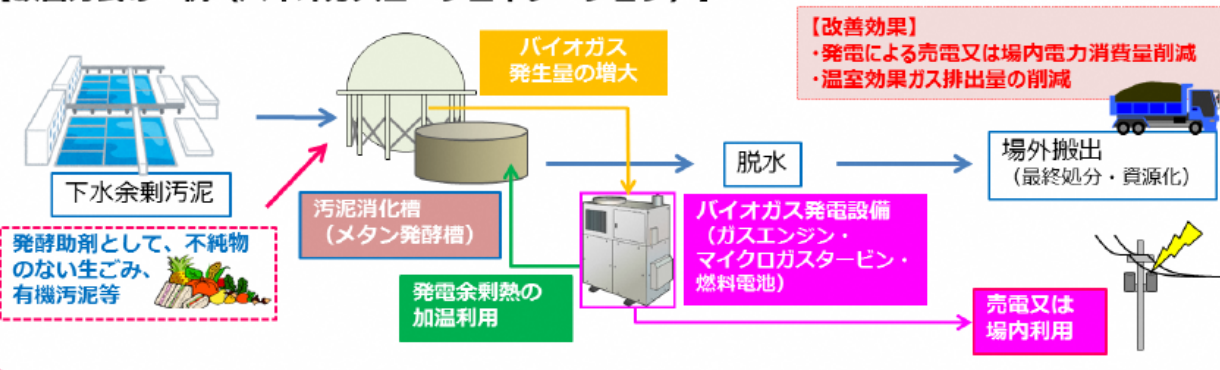
西浦下水処理場では、ごみ処理で生じるバイオガスを活用した発電を行い、電力売電による収入を下水道事業会計に還元することや、場内電力消費の削減、温室効果ガスの削減を目的として、民設民営による設備更新を進めています。

同様の取り組みは、高瀬下水処理場でも予定しています。

【従来方式】



【改善方式の一例（バイオガスコージェネレーション）】



◆西浦下水処理場
(平成31年度稼働予定)
プロポーザル実施時
提案額

20年間 約843,000千円
(年額 約42,150千円)

◆高瀬下水処理場
(平成33年度稼働予定)
基本調査による算定額

20年間 約784,640千円
(年額 約39,232千円)